



〒959-1261
新潟県燕市秋葉町3-14-7
TEL.0256-62-5131
FAX.0256-62-5772
http://www.endo-kogyo.co.jp/



※QRコードより
ホームページを
ご覧いただけます。

お問い合わせ先

TEL.0256-62-5131 (経営管理部 人材開発グループ)
Email:reiya.takahashi@endo-kogyo.co.jp

交通アクセス

JR燕駅より1.3km
三条燕ICより3.0km



インターン受入あり

ここが自信あり!!

繊細な組立、長時間作業を楽にする、
懸垂機器「スプリンバランサー」
国内トップシェア・48カ国に輸出

リフティング・マテハン機器で世界へー工具や溶接機などを懸垂して作業者の負担を軽減する機器「スプリングバランサー」。国内トップシェアを占め、国内ユーザーの海外進出に伴い輸出も増加、納入先はアジアを中心に48カ国に上ります。現地メーカー品とは一線を画す高

品質・安全性で信頼を得、日系以外のユーザーからも高い評価をいただいています。近年は、空気制御や電子制御で機能を追加した高機能バランサーを開発、スプリング以外のバランサーにも力を入れています。

会社概要

代表者名 遠藤 光緑
資本金 6,000万円
年商 33億5,370万円
従業員数 185人
(男151人:女34人)
平均年齢 43.0歳
設立年月 1935年5月

主な拠点

エコファクトリー、本社営業部(新潟県燕市)／営業部:東京(千代田区神田東松下町)、大阪(大阪市浪速区)／営業所:名古屋(名古屋市中区)、九州(福岡市博多区)／ENDO KOGYO INDIA PVT. LTD./遠藤(上海)機電設備有限公司

沿革

1935年、洋食器他の製造販売を目的に会社設立。その後工作機械の開発・製造に着手、以来製造現場で使用される産業用機械・機具を中心に事業を拡大、現在に至る。

事業内容

荷役機器(スプリングバランサー、エアホイスト)・給電機器(ケーブルリール、スリッピング)・環境機械(破碎機)の3つの主要商品群。全ての商品を自社開発・生産して自社ブランドで販売、アフターサービスにも力を入れる。

1985年 Double Helix(洋食器)がNY近代美術館Permanent Design Collection入り
1990年 新潟県産業振興賞
2005年 電力有効活用優良事業協会会長賞

福利厚生等▶P.180

● こんなものを作っています!

動力なしで無重力状態を作り出すゼンマイ

チョロQなどのおもちゃや時計などに使われているゼンマイ。構造は単純ですが、位置エネルギーを蓄積して必要な時に動力源として取り出せる、蓄エネルギーデバイスとして



自動車工場で溶接機を吊るスプリングバランサー

優れた機能を持っています。当社のスプリングバランサーは、渦巻きゼンマイを用い、この機能を巧みに利用することで、外部から動力源を供給することなく、重い工具などを“無重力化”しています。作業者が道具の重さを支えなくて済むため、自由度の高い長時間作業を実現。他にも工具を使用場所近くに吊ったまま保持するので、置き場所を取らなくて済む、工具を持ってくる時間を節約できる、といった特長があり、組立作業を伴う製造現場には欠かせない機器となっています。



スプリングバランサー

学生へのメッセージ



代表取締役
遠藤 光緑

新たな需要創造で世界市場を切り拓く

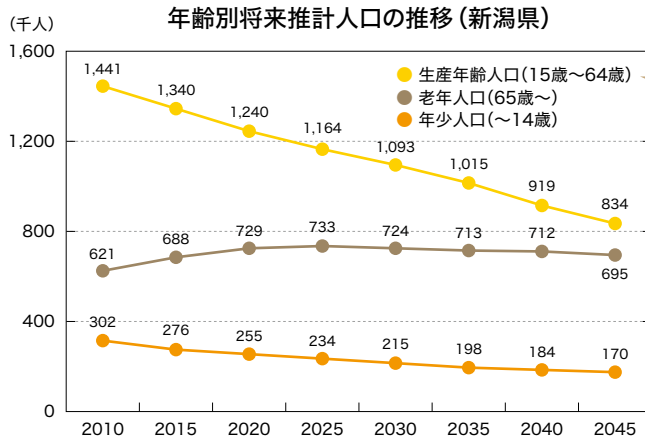
新しい技術開発や環境問題など、私たちが取り巻く環境は世界中で大きく変化しています。製造工場や建設現場から、今までは想像もしなかったご要望をいただくようになりました。これらを丹念に掘り下げ形にし、新たな市場を創るのが私たちの商品開発です。

求める人材

お客様に役立つ商品で、なくてはならない・価値のある企業になること。この実現のために必要なのは、ものづくりが好きで、好奇心旺盛な若い力です。技術を磨き・人を結ぶ、世界に羽ばたく人材を求めています。

経営戦略としての働き方改革

少子高齢化の進行に伴う生産年齢人口の減少により、今後ますます職場での人材不足が顕著になることが予想されます。**働き方改革の推進は「人材の確保・定着」のために重要な取組です。**恒常的な長時間労働や休暇の取りにくさなどを漫然と放置すれば、従業員の士気・生産性の低下のみならず、離職による人員不足を招くほか、就活生に対する悪印象にもつながりかねません。



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口 (平成30(2018)年推計)」

新潟県の**生産年齢人口(15歳以上65歳未満)**は2015年から2045年の間に**約50万人減少(▲40%)**すると推計されています。

このページに関するお問い合わせ

新潟県産業労働部しごと定住促進課 TEL: 025-280-5260

取組事例その①

遠藤工業株式会社

(企業詳細はP.96参照)



「多能工化による繁忙時の負担軽減」

- 多能工化の方針を朝礼等で繰り返し呼びかけるとともに、目標管理制度を運用し、達成度の高い社員には昇給や賞与に反映
- 各作業の標準化を図るため、作業手順をマニュアル化するとともに、ラインごとに設置したタブレットで随時確認できる体制を整備中

- 社員のやる気を引き出しながら意識改革に取り組み、約10年で現場に定着
- 繁忙時における業務量の偏りが解消

「デジタルピッキングシステムの導入」

- 種類が多く、煩雑な部品の入出庫作業をデジタル化 (ランプとディスプレイ表示による保管場所・個数等の指示、誘導)

- システム化によりベテラン頼みの状況が解消し、作業効率も向上
- 作業ミスによるクレームが激減

取組事例その②

ツインバード工業株式会社

(企業詳細はP.134参照)



「TWINBIRDアカデミー」

- 若手社員の早期戦力化を目的として、社員が講師を務める企業内大学を2019年に開講
- 従来の集合型研修に加え、WEB動画や体験講座、外部の工場視察を導入し、デジタルとリアルが融合したコンテンツを提供

- 社員同士が教え合い、学び合うことで双方のスキルアップが図られた
- 採用活動においてもアピールポイントに

「デジタル企業としての企業文化変革」

- DXの実践を通じて、電子化・見える化を可能とする「デジタル基盤の構築」を基礎とし、間接業務を中心に「自動化・効率化の実現」を推進

- 無線LAN・インターネットアクセスの強化
- 業務プロセスのデジタル化を実現 (会計・経費精算・人事・給与・勤怠・契約管理)